

異国の文化を体験 国際交流フェア

姉妹都市協会（清野幸喜会長）が異文化や姉妹都市交流への理解を深めてもらおうと、国際交流フェアを開催し会場は多くの家族連れで賑わいました。

この日、本市の国際交流員(CIR)と外国語指導助手(ALT)をはじめ、近隣市町のALTの皆さんが自国の食文化などを紹介。ルンピア（フィリピン）やファッジ（アメリカ）など各国の料理や飲み物が無料でふるまわれたほか、オーナメント作りなどの体験コーナーや、順番に袋を開けて欲しいものを取りあうアメリカ式プレゼント交換が人気を集めていました。

向陽小1年の野呂依央さんは「バルーン作りが一番楽しかった。来年もまた来たい」と笑顔で話しました。



11/24
松の館

人気を集めたアメリカ式プレゼント交換

藤田彩加さん ヨルダンでの2年間の報告



11/25
市役所

ヨルダンの民族衣装を着て現地での活動を報告した藤田さん

JICA海外協力隊員として、ヨルダンで障害者支援などを行ってきた藤田彩加さん（柏出身）がこの日、2年間の活動を終えて倉光市長に報告に訪れました。

藤田さんはクフランジャという都市の障害児者の通所施設で、障害の有無に関わらず、同じ教室で学び、共に育つ機会を提供する「インクルーシブ教育」に関する取り組みなどを実施。2年間の活動に藤田さんは「楽しかったの一言に尽きる。現地の人たちが自立して活動するために、待つことの大切さを学んだ」と話しました。

今後については「地域のために何ができるか自分を見つめ直して考えていきたい」と話しました。

しげた保育園で多世代交流

しげた保育園（工藤敦子園長）で、多世代交流会が開催されました。

この日、全園児31人のほか祖父母、地域住民ら30人が参加し、はじめに園児たちの歌やお遊戯を披露した後、じゃんけん大会や玉入れ、餅つきなどを一緒に楽しみました。

餅つきでは、祖父母らの力を借りながら、園児たちは「よいしょ！よいしょ！」と大きな掛け声に合わせて力いっぱいきねを振り下ろしていました。

年長児の清野倭平君は「餅つきは初めてで重かったけど楽しかった」と話し、地域住民からは「みんなかわいいし、元気をもらった。また参加したい」との声が上がっていました。



11/26
しげた保育園

餅つきを楽しむ参加者たち



12/1
牛潟公民館

熱唱する釜薙節子さん（車力地区）

歌の祭典 盛況に開催

牛潟公民館（小山内竹一館長）が「歌の祭典」を開催。第33回上原げんと杯争奪のど自慢大会で優勝した鈴木啓二さんら総勢17組が出演しました。

会場には地域住民ら約330人が集まり、出演者は自慢の歌声を披露し、演歌や懐かしのヒット曲など、バラエティに富んだ楽曲に会場は賑やかな雰囲気になりました。

富落町から訪れた女性は「いい歌い手ばかりですごかったです。今後も続いてほしい」と話していました。

都道府県対抗中学バレーボール大会 県選抜メンバーに

JOCジュニアオリンピック「第38回全国都道府県対抗中学バレーボール大会」の県選抜メンバーに、木造中3年三橋圭君と同中3年山下三矢毘君、車力中3年小寺音々さんが選出されました。この日、3人は市役所を訪れ、全国大会への抱負を話しました。



山下君（中央）、小寺さん（左）、三橋君（右）

選抜チームのエースでキャプテンに任命された三橋君は「エースとして苦しい場面でもしっかりと点を決めていきたい」、守りの要であるミドルブロッカーの山下君は「相手の攻撃を一本でも多くブロックできるように頑張りたい」、攻撃の起点となるセッターの小寺さんは「アタッカーとしっかりコミュニケーションをとり、打ちやすいトスを上げられるように頑張りたい」とそれぞれ意気込みを話しました。

青森ワッツ 激闘を制す

伊藤鉱業アリーナつがるにおいて青森ワッツ対鹿児島レブナイズのホームゲームが行われ、これまで5連敗中の青森ワッツが主力不在の中、チーム一丸で戦い見事接戦を制しました。

倉光市長があいさつをした後に幕を開けた試合は、開始から青森ワッツの激しいディフェンスや下山大地選手（五所川原市出身）のスリーポイントシュートがさえわたり前半を13点リードで折り返すも、後半徐々に追い上げられ、第4クォーター残り8分でついに逆転を許す展開に。それでも相手のファウルで得たフリースローを確実に決め再逆転し、その後も攻撃の手を緩めず82対75で見事勝利を収めました。

観戦に訪れた向陽小3年の松木心之介君は「ワッツの選手たちのプレーを見て、とてもかっこよかった。いつか、あんなふうに上手にプレーできるようになりたい」と笑顔で話しました。



雄たけびをあげる下山選手



豪快なダンクを決めるラシャード・ケリー選手

12/7
伊藤鉱業
アリーナつがる

市防犯標語コンクール 入賞作品展示

犯罪をなくす強い意志を持ち、防犯の心を培うことを目的に市防犯標語コンクール(市生活指導協議会・市防犯協会主催)が行われ、市内各小学校からの応募の中から最高賞の市生活指導協議会会長賞と、最優秀賞6点を決定。

会長賞には、柏小学校6年生荒谷奈々さんの「やめときな 悪口入力 のち後かい」が輝きました。受賞した7つの標語は、のぼり旗にしてイオンモールつがる柏1階ブランドショップハピネス隣の壁面に1/19(日)まで展示され、子どもたちをはじめ広く市民の犯罪防止に向けた意識啓発に役立てられます。



12/7~1/19
イオンモール
つがる柏

のぼり旗にして展示された標語

最優秀賞受賞者は次のとおりです。(敬称略)
▽向陽小5年渡邊敦斗、瑞穂小6年対馬琉羽、穂波小6年葛西陽飛、森田小5年米谷姫空、車力小6年工藤愛叶、稲垣小6年小笠原楷